

看護部

ER

病院の理念の元、受診希望患者は断らず、1次救急から3次救急まで、全ての救急車を受け入れています。救急車は1日平均40台で年間では13,000台以上を受け入れています。

2013年4月には、神奈川県においては民間病院初の救命救急センターに認可されました。

また、8月には外傷センターが開設されたため、ドクターヘリによる緊急搬送の受け入れも増えました。

救急総合診療科ではこれらの救急車やヘリコプターで搬送されてくる患者さんの他に、外来に来院される患者にも対応しています。当院では、緊急度の高い患者を優先的に診察するために、JTAS「緊急度判定システム」を使用し、すべての患者に対し、看護師がトリアージを行なっています。このことにより、緊急性かつ重症度の高い方を見落とすことなく、待ち時間に状態悪化を防ぐことを目的としています。

医師・看護師・救命救急士・看護助手が連携をとりながら、チーム全員で患者や患者家族に対応しています。今後もさらに専門性を高めて、地域の方々に満足して頂けるように、日々のスキルアップに努めています。